

1. 件名：日本核燃料開発株式会社の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和4年10月14日 10:00～11:25

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤専門職、澤村防災専門官、本間専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

日本核燃料開発株式会社

管理部総務グループ 部長代理 他3名

5. 要旨

日本核燃料開発株式会社から、令和4年11月18日に予定されている原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁から、シナリオの多様性の観点で、検討の余地があること、商用電源停電、キーパーソン不在について、中期計画に取り入れる検討を行うこと、前回までの訓練の課題に対する改善状況における要素訓練について、実動と机上の再整理を行うことを伝えた。

日本核燃料開発株式会社から、本日の面談を踏まえ対応する旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本核燃料開発株式会社の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：令和4年度 事業者防災訓練実施計画（案）（日本核燃料開発株式会社）